

# 2019年度 NPO 法人ブリッジフォースマイル 事業報告

## 1、総括

虐待件数の増加に伴い、社会的養護のニーズもますます増えています。内部研修を通じて、次の10年を見越した中長期事業計画策定に取り組みました。

また、前年度から取り組んだ組織体制や研修制度などの再構築が定着し、安定した組織運営の中で、さらなる事業拡大目指していく年となりました。

## 2、トピックス

### ■九州で2ヶ所目！熊本での事業立ち上げ

2014年、施設より職員研修の依頼があり、毎年子ども・職員向け研修を実施し、参加人数を増やしてきました。2019年より単発のセミナー開催ではなく、継続的な活動に向け、現地スタッフを採用し、児童養護施設や里親家庭との連携をはかり、ボランティア募集、育成をはじめました。巣立ちプロジェクト(全4回)には10施設3里親からのべ122名の高校3年生がセミナーに参加し、61万円分の生活必需品仲介を行いました。高校生から「内容が実践的で実話を織り込んだ話は時間を忘れるほど集中して聞いていました」との感想がありました。キャリア準備講座は、4施設のべ49名の中高生が参加しました。

### ■新しい啓発プログラム「コエール」開催

約2年間の準備期間を経て、7月21日国立オリンピック記念青少年総合センターにてコエールを開催しました。テーマは「親ありき日本をこえる」。7人のイルミネーター(親を頼れない経験をした若者)のスピーチと、アクティビスト(解決に向けて動き出している活動家)のプレゼンテーションを中心とした内容で、総勢約600の方が関わるイベントとなりました。また、いくつかのメディアでもコエールに関するイルミネーターのエピソードをご紹介いただきました。

次年度に向けては、イルミネーターの募集、アクティビストの確保に苦戦したものの、それぞれ8人、3組を確保しました。力強いソーシャルアクションを打ち出せなかった反省を踏まえ、ソーシャルアクションアカデミーを立ち上げ、実効性のあるプログラムを目指します。

### ■進学した女性退所者向けシェアハウスの増設

安価で、安心して住むことができる住宅を提供する「スマイリングプロジェクト」では、神奈川県川崎市鷺

沼にて新たに「SHIP 鷺沼」の運営を開始しました。

4月は社会人1名と、退所者1名での運営開始でしたが、高校3年生向けに夏休み期間を利用した宿泊体験会を実施し、2020年春に入居する学生を募集しました。年度末には新たな入居者の引っ越しも完了し、社会人2名と、退所者3名が共同生活を開始しています。

ご支援者から定期的にお米をご寄付で送っていただくことになり、初台、鷺沼ともに入居者は、秋田県コシヒカリを好きなだけ食べられることになりました。経済的に楽になるだけでなく、料理をする動機付けにもなり、さらに自立につながる支援になりました。

### ■初めてのクラウドファンディングで619万円調達

クラウドファンディングのCAMPFIRE(キャンプファイヤー)にて、目標金額500万円の資金調達に挑戦しました。「寄付仲介のプラットフォーム構築」と「生活必需品の購入費」を集めるため、関係各所への連絡や団体をあげての拡散活動に奔走。9月13日に開始し、11月24日には目標を無事達成。ネクストゴールは「自立ナビゲーション」運営資金として600万円を設定。終了日の11月28日を迎え、最終的に309人から619万円のご寄付をいただきました。

この機に以前ボランティア登録してくれていた人たちにも連絡したところ、多くの方が返信、寄付をしてくれたのも嬉しい収穫でした。